

# フランス留学体験記 vol.1

相木奏太

---



## フランスに来て1ヶ月目の感想

日本から遠く離れてる国ということもあり、当然のことではあります、身の回りの環境や人々の考え方、文化すらも全く違うということをも身をもって体験しました。

日本語がほとんどない環境での生活は、全てが円滑に進むはずがないのですが、日本とは違った環境を楽しめています。行く前に少しフランス語を勉強していたため、思ったよりも話すことが通じますし、1ヶ月経った今は、知らない単語が出てこない限りは大まかに何を言ってるか理解出来る程度になってきたため、フランス語での会話が楽しいです。

## 特に日本との違いを感じたところ

1番はやはり、学校の教育に関してだと思います。フランスのLycéeと呼ばれる日本で言うとするなら高校に位置する所は、「Spécialité」と呼ばれる大学の専攻のような概念があります。12個の専門科目から3個を自分で選択して、その分野を勉強するというシステムです。(もちろん必修科目も存在しますが)僕は「HGGSP」と呼ばれる、地理・歴史・政治・社会を学ぶ分野、「Philosophy」まさしく哲学、そして「NSI」と呼ばれる、日本で言う情報を取っています。このように授業を取るために、大学のように授業がない時間が存在します。授業がない時は、次の授業までに戻ればいいため、みんな雑談をしたりゲームしたり、人によっては勉強をしたりしています。

特に驚いたのが、授業中になにか質問があった際に皆、手を挙げて質問をしたりということでした。昔からの固定概念で「フランス人は自分たちの意見をしっかりと言う。」というイメージが強い人も多いのではないのでしょうか。

日本とは違うということフランスの友達に話したところ、かなり驚いていました。「なんでもないの! ?」、「テストとかで困るじゃん!」などの声が多かったです。逆になぜみんな自分の意見をしっかりとと言えるの?と聞いてみたところ、「フランスの法律で、自分の意見を発してもいいって決められてるからね。」と当たり前かのように言われました。

## 生活する上で難しいこと

やはり、まだ周りの目を気にしてしまうことが大きいです。何をするにもまず言語が違うため、自分の言っている文がもし間違っていたとしてもとりあえず言わなきゃ何も始まらないため、毎度勇気を振り絞って話すようにしています。間違えるのを恐れてしまうと、自分の殻の中に籠ってしまうため、間違えることを恐れずに試すという姿勢が大事だと思います。

幸い、生徒や先生、街中にいる人のほとんどが優しいためわかりやすく説明をしてくれたり、僕が理解するために英語での会話を試みってくれる人もいます。本人たちは北欧と比べて英語は話せないとは言うけれど、話せる人はある程度いるため、フランス語で話してもし理解出来なかったら英語で説明してもらおうという風にもなっています。